

I. 概況

当財団は、賛助会員会費及び日本財団からの助成金等を原資として公益目的事業に取り組んでいる。

令和3年度の「調査研究事業」では、近年、離島との物流において温度管理した貨物輸送の増加や台風等災害時の物資不足に対応するため、冷凍コンテナの需要が大きくなっていることから、冷凍コンテナを取り巻く状況を把握するため、離島における冷凍コンテナ物流の現状調査を行い現状の課題等をとりまとめた。

また、大学等の研究成果等を九州圏内の交通運輸・観光事業の発展及び地域社会の活性化に寄与することを目的として「懸賞論文」の取り組みを実施し、6編の応募があり優秀賞1編を選定した。

「施設整備事業」では、離島住民の生活の安定と福祉の向上に資するため、冷凍コンテナ 13個、バリアフリー対応型タラップ 2基を製作し、旅客定期航路事業者に管理委託した。

「広報啓発等事業」では、新型コロナウィルスへの感染拡大防止の観点から「新春講演会」及び「次世代の海事産業を担うことになる小中学生等への啓発活動」である海事施設の見学を1校中止したが、その他の事業は開催日程を調整することによりほぼ計画どおりに実施できた。

II. 事業の実施状況

1. 調査研究事業

事 業 名	事 業 計 画 等
離島における冷凍コンテナ物流の現状調査	<p>近年、離島でのコンビニや大手スーパー、ドラッグストアの立地増に伴い、温度帯を設定した状態での貨物の輸送や、冷凍品の輸送の急増等により冷凍コンテナの需要が増加している。そのため、当センターが離島航路事業者に向けに毎年行っている施設整備事業における要望調査においても冷凍コンテナの需要は高く、今後も続くものと予想される。</p> <p>また、台風時の物資の不足等、災害時の離島物流については長年の課題となっており、離島での生活が本土よりも不便が多かった頃と比べ、離島において本土と同程度の生活が望まれる現在の生活の中では特に大きな問題とされている。</p> <p>離島住民にとって航路事業者による物流は、今後、益々重要なものとなっているが、急激に冷凍コンテナ需要が高まったために、冷凍コンテナの利用方法や物の流れ、荷主や港湾運送事業者、航路事業者等の役割、災害時の対応など、冷凍コンテナを取り巻く状況や課題等の詳細や今後の方向性を捉えることが難しかった。</p> <p>そのため、冷凍コンテナを取り巻く状況を整理するため、荷主や港湾運送事業者、航路事業者、行政等の冷凍コンテナ物流に関わる関係者からヒアリングを行い、現状の課題等をまとめ「離島冷凍コンテナ物流調査」報告書を作成し、ホームページ上に公開した。</p>
懸賞論文の募集	<p>大学等における交通運輸・観光に関する研究を促進するとともに、その研究成果を活用することにより、九州圏内の交通運輸・観光事業の発展及び地域社会の活性化に寄与することを目的として、2021年5月14日～11月19日の間、懸賞論文を募集したところ、6大学から6編の応募があり、審査委員会（2022年1月6日開催）において審査の結果、以下のとおり優秀賞1編が決定された。</p> <p>○テーマ：道の駅における長期的顧客の創造 ～選択肢に入り込む攻めのアプローチ～ 受賞者：的場朱音、白樺龍之介、出口絵理（共同執筆） （同志社大学 商学部 商学総合学科）</p> <p>なお、新型コロナウィルスの影響を考慮し、感染状況が落ち着いた令和4年4月26日に竹島会長より受賞者に個別に賞状、副賞の授与を行った。</p> <p>また、受賞論文はホームページにて公開し、機関誌九州うんゆジャーナルに掲載予定です。</p>

2. 施設整備事業

事業名	事業計画等						
九州圏における海運振興関連施設整備 (日本財団助成事業)	<p>(1)離島住民の民生の安定と福祉の向上に資するため、冷凍コンテナ、保冷コンテナ等を製作して旅客定期航路事業者に管理委託した。</p> <p>①冷凍コンテナ 13 個</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルエーフェリー(株) (鹿児島～奄美～那覇航路) L6058×W2438×H2591 mm 2 個 ・マリックスライン(株) (鹿児島～奄美～那覇航路) L6058×W2438×H2591 mm 1 個 L3658×W2438×H2591 mm 1 個 ・奄美海運(株) (鹿児島～喜界～知名航路) L3658×W2438×H2591 mm 2 個 ・三島村 (鹿児島～三島航路) L1680×W2125×H2100 mm 2 個 ・十島村 (鹿児島～十島～名瀬航路) L2438×W2991×H2438 mm 2 個 ・屋久島町 (宮之浦～口永良部・島間航路) L2000×W2100×H2100 mm 1 個 ・野母商船(株) (福江～青方～名瀬航路) L2550×W1800×H2438 mm 2 個 <p>(2)離島住民の福祉の向上のため、風雨防止用通路シェルター、簡易待合所、バリアフリー対応型タラップを製作し、離島航路の岸壁に整備し、旅客定期航路事業者に管理委託した。</p> <p>①バリアフリー対応型タラップ 2 基</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗像市 (大島～神湊航路) <table> <tr> <td>大島港</td> <td>L6140×W1530×H 最低 540 × 最高 3280 mm</td> <td>1 基</td> </tr> <tr> <td>神湊港</td> <td>L5750×W1530×H 最低 410 × 最高 3100 mm</td> <td>1 基</td> </tr> </table> 	大島港	L6140×W1530×H 最低 540 × 最高 3280 mm	1 基	神湊港	L5750×W1530×H 最低 410 × 最高 3100 mm	1 基
大島港	L6140×W1530×H 最低 540 × 最高 3280 mm	1 基					
神湊港	L5750×W1530×H 最低 410 × 最高 3100 mm	1 基					

3. 広報啓発等事業

事業名	事業計画等						
(1)機関誌「九州うんゆジャーナル」の発行	<p>賛助会員その他関係者への交通運輸・観光等に関する情報提供・サービス向上を図るため九州うんゆジャーナルを発行、配布した。</p> <table> <tr> <td>2021 夏号 VoL. 120</td> <td>2021 年 7 月 10 日</td> <td>発行 1,000 部</td> </tr> <tr> <td>2021 冬号 VoL. 121</td> <td>2022 年 1 月 31 日</td> <td>発行 1,000 部</td> </tr> </table>	2021 夏号 VoL. 120	2021 年 7 月 10 日	発行 1,000 部	2021 冬号 VoL. 121	2022 年 1 月 31 日	発行 1,000 部
2021 夏号 VoL. 120	2021 年 7 月 10 日	発行 1,000 部					
2021 冬号 VoL. 121	2022 年 1 月 31 日	発行 1,000 部					

事業名	事業計画等
	<p>(1)講演会の開催</p> <p>交通及び観光の振興と近代化に資するため、毎年、九州各県のトラック協会との共催で講演会を開催。大分県トラック協会と共に講演会を開催準備していたが、新型コロナウィルス感染拡大により中止した。</p> <p>開催日：2022年2月3日（木）13：30～15：40 場所：レンブラントホテル大分（大分市） <第一部>テーマ：物流・トラックに関する最近の話題 講師：国土交通省 自動車局 貨物課 課長 日野 祥英 氏 <第二部>テーマ：世界経済、日本経済、そして大分県経済 講師：日本銀行 大分支店 支店長 鈴木 淳人 <第三部>テーマ：女性活躍推進の取り組み 講師：社会保険労務士 篠原事務所 代表 篠原 丈司 氏</p>
(2)各種講演会・セミナー等の開催	<p>(2)九州運輸コロキアムの開催</p> <p>講師を招いて交通運輸・観光全般について情報提供を行い、テーマに沿って参加者が自由、活発に討議、対話をを行う場として下記の内容で開催した。</p> <p>【運輸・観光 女性活躍促進セミナー】 ※九州運輸局との共催 開催日：2022年3月18日（金）13:30～16:00 場所：福岡市 TKPガーデンシティ博多 新幹線口「プレミアムホール」 参加者：会場36名、オンライン視聴115名 ・基調講演 　　テーマ①：女性採用に向けた事業者の意識改革 　　講師：(一社)女性バス運転手協会 　　代表理事 中嶋 美恵 氏 　　テーマ②：観光における女性の力 　　講師：大正大学 社会共生学部 公共政策学科 　　教授 柏木 千春 氏 　　テーマ③：女性採用活動におけるポイント 　　講師：(株)リクルート ジョブズリサーチセンター 　　センター長 宇佐川 邦子 氏 　　テーマ④：女性活躍のための環境整備に向けて 　　講師：厚生労働省 福岡労働局 雇用環境・均等部 　　部長 室谷 留美 氏 ・意見交換 上記講師4名 モデレーター：(株)Cheering 代表取締役 長崎 真友子 氏</p>

事 業 名	事 業 計 画 等
	<p>(3)海事振興セミナー</p> <p>海事振興を目的として、特に海事に関する最新の情報提供や課題解決等のためのセミナーを開催した。</p> <p>a 第 21 回海事振興セミナー</p> <p>※九州運輸局、九州地方海運組合連合会との共催 開催日：2021 年 4 月 28 日（水） 13:30～15:30 場 所：オリエンタルホテル福岡 博多ステーション 3 階</p> <p>参加者数：会場 55 名、オンライン視聴 77 名</p> <p>セミナー概要</p> <p>テーマ①：令和の時代の内航海運に向けて 講 師：国土交通省 海事局 内航課 課 長 秋田 未樹 氏</p> <p>テーマ②：I T を活用した船員採用と 人材育成の取組み事例 講 師：I Tec Marin 株式会社 代表取締役兼 CEO 石川 和弥 氏</p> <p>テーマ③：海運情報化時代の J R C の取り組み ～更なる安全・効率化運航に向けて～ 講 師：日本無線株式会社マリンシステム営業部 情報ビジネスグループ 池山 智道 氏</p>
(2)各種講演会・セミナー等の開催	<p>b 海上ブロードバンドサービスの最新動向に関する特別セミナー</p> <p>※九州運輸局、九州旅客船協会連合会、九州地方海運組合連合会との共催 開催日：2021 年 12 月 9 日（木） 13:30～15:30 場 所：オリエンタルホテル福岡 博多ステーション 3 階</p> <p>参加者数：会場 55 名、オンライン視聴 68 名</p> <p>セミナー概要</p> <p>テーマ①：ソフトバンクの N T N 構想 講 師：ソフトバンク（株）サービス企画技術本部 部 長 押田 祥宏 氏</p> <p>テーマ②：カーボンニュートラル推進に向けた気象 海象データの活用について ～POLARIS による航海支援と事後評価～ 講 師：株式会社フォーキャスト・オーシャン・ プラス 海洋情報部 部 長 山形 宏介 氏 一般財団法人日本気象協会 社会・防災事業部 営業課 グループリーダー 佐藤 淑子 氏</p>

事業名	事業計画等
(2)各種講演会・セミナー等の開催	<p>(3)企業経営基盤強化等セミナーの開催 関係業界団体と連携し、企業の経営基盤の強化等につながる最新の情報等を提供するため、運輸関係事業者を対象としたセミナーを企画・開催した。</p> <p>① 企業経営基盤強化等セミナー 開催日：2021年10月21日(木) 13:30～15:00 場所：オリエンタルホテル福岡 博多ステーション 3階 参加者：67名 テーマ：ハラスメント予防と対策 講師：厚生労働省 福岡労働局 雇用環境・均等部 指導課 雇用環境改善・均等推進指導官 労働紛争調整官 副島 正子 氏</p>
(3)次世代の海事産業を担うこととなる小中学生等への啓発活動（海の子育成）	<p>次世代社会を担うこととなる小・中学生等を対象に、海事産業現場の見学会を実施することなどにより、海事産業の重要性等の認識や理解促進を図った。</p> <p>【海の子育成 海事施設見学会】 ○実施日：2021年10月20日（水）8:00～15:40 参加者：鹿児島市立春山小学校 生徒102名、先生4名、 計106名 内容：造船所見学</p> <p>○実施日：2022年3月1日（火）8:30～15:40 ⇒開催中止 参加者：熊本県上天草市立阿村小学校 6年生 生徒10名、教諭2名、計12名 内容：乗船体験、救命胴衣着用体験、造船所見学、熊本県海運組合の出前講座、船外機製造工場見学、コンテナ荷役見学</p>
(4)バリアフリー啓発促進	<p>バリアフリー社会実現のカギを握る船員や事務職員などの運航関係者を対象に、フェリー船内やターミナルを活用した、車椅子・視覚障害・高齢者などの疑似体験及びサポート体験をしてもらうことにより、離島航路におけるソフト面の一層のバリアフリー化を進めるために実施した。</p> <p>令和3年度バリアフリー講習会 in 宮崎港 開催日：2021年11月16日（火）10:00～12:30 場所：宮崎市 宮崎港フェリーターミナル及び旅客フェリー「みやざきエキスプレス」</p>

事 業 名	事 業 計 画 等
(4) バリアフリー啓発促進	<p>実 技：ターミナル、船内 • 車椅子疑似体験及びサポート体験</p> <p>座 学：フェリー内食堂 • テーマ：旅客事業者に求められること • 講 師：(公財)交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部 高橋 徹 氏 NPO 法人障害者自立支援センター YAH!DO みやざき 理事 永山昌彦氏</p> <p>参加者：旅客航路事業に従事する船員及び運航担当者 20 名</p>
(5) 九州の交通・運輸に関する統計の整備	九州圏における交通、運輸に関する統計資料を当センターホームページ上で公開した。(監修：九州運輸局)

III. 総務関係事項

1. 評議員会・理事会の開催状況

(1) 評議員会

① 令和3年度みなし評議員会 令和3年6月11日

開催方法 決議の省略の方法

決議事項 評議員の選任について

理事の選任について

令和2年度事業報告及び決算報告(案)について

出席等 提案書に対し、評議員11名全員の書面による同意の意思表示により意義がないことの意思表示を得た日をもって、評議員会の決議があったものとみなされた。

② 令和3年度みなし評議員会 令和3年6月23日

開催方法 決議の省略の方法

決議事項 評議員会会長の選任について

報告事項 業務執行理事の職務執行状況

出席等 提案書に対し、評議員12名全員の書面による同意の意思表示により意義がないことの意思表示を得た日をもって、評議員会の決議があったものとみなされた。

③ 令和3年度みなし評議員会 令和3年7月30日

開催方法 決議の省略の方法

決議事項 評議員の選任について

出席等 提案書に対し、評議員11名全員の書面による同意の意思表示により意義がないことの意思表示を得た日をもって、評議員会の決議があったものとみなされた。

④ 令和3年度みなし評議員会 令和4年3月28日

開催方法 決議の省略の方法

決議事項 令和4年度事業計画及び収支予算(案)について

報告事項 業務執行理事の職務執行状況

出席等 提案書に対し、評議員12名全員の書面による同意の意思表示により意義がないことの意思表示を得た日をもって、評議員会の決議があったものとみなされた。

(2) 理事会

① 令和 3 年度みなし理事会 令和 3 年 5 月 26 日

開催方法 決議の省略の方法

決議事項 令和 2 年度事業報告及び決算報告について

評議員会招集について

出席等 提案書に対し、理事 11 名全員の書面による同意の意思表示及び監事 1 名全員から書面により意義がないことの意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

② 令和 3 年度みなし理事会 令和 3 年 6 月 23 日

開催方法 決議の省略方法

決議事項 業務執行理事（理事長及び専務理事）の選任について

報告事項 業務執行理事の職務執行状況

出席等 提案書に対し、理事 12 名全員の書面による同意の意思表示及び監事 1 名全員から書面により意義がないことの意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

③ 令和 3 年度みなし理事会 令和 4 年 2 月 24 日

開催方法 決議の省略の方法

決議事項 評議員会招集について

出席等 提案書に対し、理事 12 名全員の書面による同意の意思表示及び監事 1 名全員から書面により意義がないことの意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

④ 令和 3 年度みなし理事会 令和 4 年 3 月 14 日

開催方法 決議の省略の方法

決議事項 令和 4 年度事業計画及び収支予算(案)について

報告事項 業務執行理事の職務執行状況

出席等 提案書に対し、理事 12 名全員の書面による同意の意思表示及び監事 1 名全員から書面により意義がないことの意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

2. 評議員、役員名簿（令和4年3月31日現在）

(1) 評議員

(敬称略、順不同)

役職名	氏 名	現 職
評議員 (会長)	大 津 学	鹿児島県倉庫協会会长 ((株)大津倉庫 代表取締役社長)
評議員	安 藤 寿 英	三池港物流(株) 代表取締役社長
評議員	下 村 彰	西部ガステクノソリューション(株) 代表取締役社長
評議員	徳 光 昌 己	小倉地区港運協会会长 (山九(株) 北九州支店長)
評議員	村 上 克 己	(株)上組 代表取締役常務 常務執行役員 九州支社長
評議員	村 木 昭一郎	長崎旅客船協会会长 (野母商船(株) 代表取締役社長)
評議員	小 笠 原 朗	阪九フェリー(株) 代表取締役社長
評議員	今 泉 清 美	佐賀地区港運協会会长 ((株)奈雅井 代表取締役社長)
評議員	山 下 幹 夫	佐賀県倉庫協会副会長 (鳥栖倉庫(株) 代表取締役社長)
評議員	小金丸 滋 勝	九州冷蔵倉庫協議会会长 (芳雄製氷冷蔵(株) 代表取締役社長)
評議員	森 永 洋	(一財)日本モーターボート競走会 九州地区理事
評議員	田 中 清 二	(一財)閑門海技協会 理事

評議員 12名 (定数: 7名以上13名以内)

(2) 役員

(敬称略、順不同)

役職名	氏 名	現 職
代表理事 (会長)	竹島 和幸	西日本鉄道(株) 相談役
理 事 (副会長)	城野 隆行	九州地方倉庫業連合会会长 ((株)キョーワ 代表取締役社長)
理 事 (理事長)	竹永 健二郎	九州旅客船協会連合会会长 (九州郵船(株) 代表取締役社長)
理 事	佐竹 陽一	日本通運(株) 執行役員、 九州ブロック地域総括兼福岡支店長
理 事	伊東 純一	((株)ジェネック 代表取締役社長)
理 事	大西 英二朗	九州地方港運協会副会長 (鹿児島海陸運送(株) 代表取締役副社長)
理 事	宗田 銀也	九州地方海運組合連合会会长 (旭海運(有) 代表取締役社長)
理 事	椎葉 邦男	三菱造船(株) 常務執行役員
理 事	大黒 伊勢夫	(一財)国際観光ビジネス協会 理事
理 事	廣川 昌哉	九州旅客鉄道(株) 取締役監査等委員
理 事	迫田 昌	奄美海運(株) 取締役副会長
理 事 (専務理事)	福山 二也	(公財)九州運輸振興センター

監 事	西 正 博	九州トラック協会 専務理事
-----	-------	---------------

理事 12名 (定数: 7名以上 13名以内)

監事 1名 (定数: 2名以内)

附属明細書について

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。